

日本障害者協議会・障害者政策に関する質問状(政策アンケート)への回答

3. 障害者差別禁止法について

障害者政策委員会差別禁止部会は、本年9月『障害を理由とする差別の禁止に関する法制』についての差別禁止部会の意見』をまとめました。「合理的配慮」の不提供も差別であるとした部会案に基づいて、法案が策定されることを期待しますが、これに関する貴党のご見解をお聞かせください。

Q3-1 差別禁止部会案への評価

- ① 部会案に基づいた法案の制定に全面的に賛成する。
  - ② 部会案の考え方には一部修正すべき点があるが、それが修正されれば賛成する。
  - ③ 部会案の考え方には同意できない部分が多く、これに基づく法案には賛成できない。
  - ④ その他
- ②～④を選択の場合、その理由もお書きください。(200字以内)

民主党	自由民主党	公明党	日本共産党	みんなの党	社会民主党	日本維新の会	国民新党
④その他	記入なし	④その他	①部会案に基づいた法案の制定に全面的に賛成する。	①部会案に基づいた法案の制定に全面的に賛成する。	①部会案に基づいた法案の制定に全面的に賛成する。	④その他	①部会案に基づいた法案の制定に全面的に賛成する。
障害者差別禁止法については、政府内の検討と平行して、民主党の障がい者差別禁止PTでも検討を重ねています。できるだけ障害者政策委員会差別禁止部会の意見を反映させる形の法案を策定したいと考えています。		公明党は、障がいを理由とした差別のない社会を目指す観点から、障がい者の権利擁護のために「障がい者差別禁止法」の制定を目指してきました。「部会案」の内容を参考としつつ、今後、党内で真摯に議論していきたいと考えています。				「過度な負担」の内容について、さらなる議論が必要である。	